

令和6年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	大磯町立大磯中学校
-----	-----------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文と適切な資料を選択し自分の考えを明確に伝えることができる。 ・説明の内容を捉えることや文中の情報を説明したもののうち適切なものを選択できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌に詠まれている情景を捉えることに苦手意識を持つ生徒が多い。 ・短歌や俳句に詠まれている情景を想像し、表現できる力を、授業を通して伸ばせるよう取り組んでいく。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・正の数・負の数の加法の計算を用いて問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。 ・関数分野で、グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的に解釈し問題解決の方法を数学的に式やグラフを用いて説明する場面において、苦手意識があった。 ・複数集団のデータを比較して読み取り数学的表現を用いて説明することにおいて、苦手意識が見られた。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の友人や地域や社会のために何かしたいと考えている生徒が多く、学習面でも前向きに取り組んだ。 ・学んだことを日常生活に生かす姿勢も見られ、タブレットも上手に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国平均を上回る項目が多かったが、学級生活をより良くするための話し合いや自分が努力すべきことを考える項目がやや低い。 ・学校生活をより良くするため学級会など意識的に取り組む必要がある。

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・学習面では、各教科での基礎的な学力をもとに、協働的な学習等を活用したうえで、自分の意見や考えをもち発表する学習活動をできる限り多くもつようにする。 ・生活面では、生徒一人ひとりの状況を把握し、教職員や家庭との連携を図ったうえで、人間関係づくりを基本とした実践力を身につける機会を増やしていく。
--

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

<ul style="list-style-type: none"> ・各種たより、ホームページ等を活用して、保護者や地域の皆様へ情報を発信します。 ・学習面・生活面について、コミュニケーションを大切にしつつ、ご家庭のご支援・ご協力を引き続きお願いします。 ・タブレットの利活用及び情報リテラシーに関して、ご家庭との連携をしながら、推進を図っていきます。
--